

第3学年 学級活動（2）指導案

2024年11月8日（金）2校時

指導者 教諭 杉原 力弥

場所 3年教室

1 題材 「よりよい学級にするための協力」
学級活動（2）イ よりよい人間関係の形成

2 題材について
（1）児童の実態

個人情報保護のため省略

（2）題材設定の理由

本題材では自分自身の協力の仕方を振り返り、児童一人一人がよりよい協力をしていこうとする意識を高め、自己の目標を決定することでより自己や生活を向上することができる題材である。

本題材「よりよい協力」を選んだ主な理由としては、令和7年度から統合小学校として新たなスタートを迎えるにあたり、高学年の仲間入りをする前段階である4年生という現段階は、学校全体をよりよくしていこうとする意識の基盤を固める大切な時期であるということが挙げられる。この時期に本授業で協力することの大切さについて深く考えることを通して、R7年度からの学校生活をより豊かに、よりよい人間関係を構築してほしいと考える。また、4年生という上学年の仲間入りをするにあたり、委員会活動等、学校全体に関わる活動も増えてくる。その中で多様な他者や意見を尊重しながら、みんなで温かい雰囲気をつくり、協力してよりよいものをつくりあげていくことが大切だと考える。上学年の仲間入りをするという視点からも本題材を選んだ。

3年生の1学期には、自分自身の行動に視点を当てた指導を行ったことが多かった。しかし、2学期からは、自分自身の在り方はもちろん、それを土台として、より他者の思いを考えた行動ができるよう、指導を行い「協力」の大切さやよさについても日々指導してきた。しかし、まだ意識の高まりに課題があると感じている。そのため、本授業を通して改めて協力することの大切さやよさについて考えていきたい。また、自分自身の協力の仕方を振り返り、協力の大切さやよさを再認識した上で自分の課題と解決する方法を学級で話し合いながら明確にしていきたい。そして、話し合っただけの意見を参考にしながら自己目標を意思決定することで、実践と振り返りを反復する中で、課題解決に向けた意識を継続させたい。

今後、この学習を繰り返し行うことで自他の個性を理解して尊重し学級内にとどまらず、学校内においてもよりよい人間関係を築いてほしいと考える。

3 本校の研究とのかかわり

本校の研究主題は「認め合い、自らよりよい生活をつくる横田っ子の育成」である。育成していく上で特活において、めざす児童の姿は2つある。1つ目は「人と関わるよさを感じられる子」であり、2つ目は「向上心をもち実践に向かう子」である。

これら2つの姿に近づけるために本題材を通して、互いを尊重しながらよさやがんばりを認め合うことや必要感を自覚しながら意思決定をしていくことが大切だと考える。

本時、事後の指導では、他者と協働して目標を設定する、互いの取組への姿勢や変化を評価する、協力に対する理解や考えを深めるためにイラストを提示する、具体的に目標を設定している児童を価値づける、学級会で協力についての目標を話し合う等の場面を設定している。

以上のことを行い、他者の思いに目を向けながら認め合ったり、自分の行動に意味と自信をもち取り組んだりすることで、めざす児童の姿を達成したいと考える。

3 第3学年及び第4学年の評価規準

【学級活動（2） 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全】

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全といった、自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解するとともに、そのために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活上の課題に気付き、多様な意見を基に、自らの解決方法を意思決定して実践している。	自己の生活をよりよくする協働して自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。

4 事前の指導

児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
アンケートに記入する。	具体的な場面を思い起こしながら自分の協力に対する考え等を振り返り、課題を明確にする。 アンケートを取ることで、課題への意識を高められるようにする。	アンケートに答えることで、自分の協力について進んで振り返ろうとしている。 【主体的態度】〈アンケート〉

5 本時のねらい

学級目標である「温かい学び合い」に向かって協力することの大切さやよさについて理解し、自分の課題に合った具体的な方法を定めることにより、自分自身の協力の在り方について考えて実践できるようにする。

6 本時の展開

	児童の活動 ・予想される反応	指導上の留意点	資料	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
導入 つかむ (5)	1 アンケート結果を見て気付いたことを発表する。 温かい学び合いは大切? ・大切だと思う 協力の点数の理由 ・質問していない ・言い方がきつい	・アンケート結果を提示することで大切だと分かっているが、課題があることに気付けるようにする。	アンケートの結果	

	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を言わない <p><u>気付いたことや考えたこと</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・意外と点数が低い ・大切だと分かっているもできていない 			
展開	<p>2 温かい学び合いのよさについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知らなかったことを知ることができる ・温かい雰囲気になる ・たくさんの意見が出て楽しい話合いになる ・安心して発言できる <p>3 イラストを見て思ったことを話し合う。</p> <p><u>協力していない場面のイラスト</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○言い方がきつい →自分の考えと違ったときによくない言い方をした ○意見を言わない →全体で発表するときできないことがある ○リアクションをしない →疑問があっても質問しないときがある →話合いなどで温かい雰囲気になる言葉を言えていない →話合いでうなずきながら話を聞けていない ○同じ人と話すことが多い →自由交流のときに同じ人と話すことが多い <p><u>協力している場面のイラスト</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しい教室になりそう ・安心して話合いができそう ・堂々と意見が言えそう 	<ul style="list-style-type: none"> ・出た意見をもとに経験を想起させ、協力することを大切にすることでメリットがあることを認識させる。 ・児童から考えが出ない場合には協力をしてよかったことはないかと発問する。 <ul style="list-style-type: none"> ・協力しているイラストと協力していないイラストを提示し、作戦を考える必要感をうながすようにする。 ・協力していないイラストを見せ、危機感を促した後、今の自分はどのイラストを大切にしたいか、どのイラストに近いか確認し、理由を考えることで自分の課題を把握できるようにする。 ・課題把握の後、どの場面でそのような行動をしてしまうのか問い返し、場面をしぼるようにする。 ・自分の課題を解決することでどのようなメリットが生まれるのか問い返すことで実践意欲を高めるようにする。 ・自分の経験を想起できるように問い返しを行う。 	イラスト	
	<p>温かい学び合いに向かって協力するための作戦を考えよう。</p>			
見つける	<p>4 自分が解決したい課題を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話合いのときに分からないことや疑問に思ったことを質問していない ・話合いのときに温かい雰囲気になる言葉を言えていない ・自分の考えや答えと違ったときに言い方がきつくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級の課題ではなく、自分自身の課題を考えるようにする。学級の課題を考えている児童がいた場合、自分自身に立ち返ることができるよう問い返しを行う。 ・どの場面の課題か問い返しを行い、場面を限定するようにする。 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・全体で発表する場で意見が言えていない ・特に算数の自由交流の場面で同じ人と話してしまう <p>5 自分の課題に合った作戦を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決めつけて言わないようにする。「どう思う？」など友だちに聞くようにする ・授業で1回は発表するようにする ・自分の考えと比べながら聞き、疑問点は必ず質問する ・自分から話しかけて全員と話せるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・方法が思いつかない児童に対しては、教師が問い返しを行ったり、他の児童に聞いたりして話し合いながら見つけられるようにする。 ・個々の課題を克服するための具体的な作戦となるよう、これまでの自分の行動を振り返りながら考えている児童を認めたり称賛したりする。 ・自分の方法を実践することでどんなよさがあるか考えられるように問い返しを行う。 ・よいと思った方法は真似してもよいことを伝える。 ・課題や方法に相違があっても、友だちの考えの中に自分の方法に取り入れることができるものはないか声かけをする。 ・抽象的な方法(とにかくがんばる、意識する)ではなく具体的な方法を考えている児童は認め、称賛し、児童の意欲を高めるようにする。 		
<p>終末</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">決める</p> <p>(10)</p>	<p>6 これからどのようにしていくか、自分の作戦を決めて発表する。</p> <p>7 振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の実態に合わせた具体的な目標を立てるように助言することで、実践への意欲を高める。 ・友だちの作戦を知ることで、互いに励まし合いながら実践していこうとする意識を高める。 ・友だちの考えを参考にした児童がいた場合、何を参考にしたのか聞くようにし、自分に合った作戦を設定することができたことを大いに価値づける。 	ワークシート	<p>◎話し合ったことを生かして、自分が実践することを意思決定し意欲的に実行していこうとしている。</p> <p>【思考・判断・表現】<観察・めあてカード></p>

7 事後の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
<ul style="list-style-type: none"> 自分の立てた目標や取り組みについて実践し、振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> 事後に振り返る機会を設定し、実践に向けて継続した取組になるように助言する。 	◎意思決定したことを実践している。 【思考・判断・表現】〈観察〉
<ul style="list-style-type: none"> 実践していく中で学級の課題等を議題ボックスに入れ、学級会を開く 	<ul style="list-style-type: none"> 個人で取り組んできたことを評価しつつ、学級全体として課題を明確にし、学級の目標を設定できるようにする。 	◎学級全体の課題と目標を明確にし、みんなで実践していこうとしている。 【思考・判断・表現】〈観察〉
<ul style="list-style-type: none"> 友達同士で取り組みを確認し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 帰りの会などを利用して、友達同士で取組を確認し合う場を設け、お互いの頑張りを励まし合うことにより、意欲の継続を図るようにする。 	◎実践を振り返り、今後も協力していこうとする意欲をもち、友達と仲よく生活を送ろうとしている。 【主体的態度】〈めあてカード〉